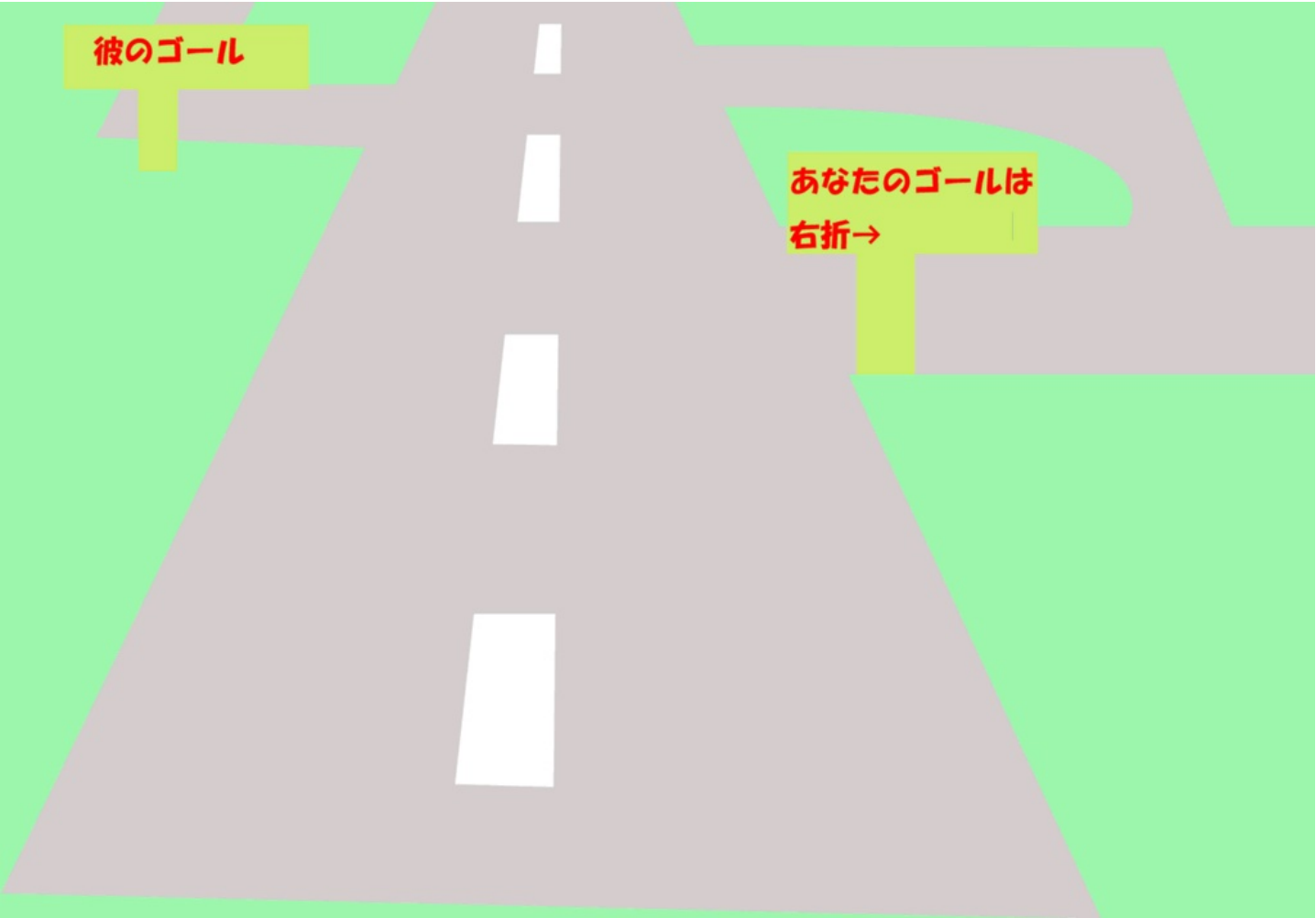




道に例えられる人生論

道はよく人生に例えられる。よく耳にするものの実際によく考えたことがあるだろうか。

筆者は自動車の運転をしていると人生はまさに自動車運転と同じであると思う。

まず生まれる。出発地点。生まれて自我に目覚めるまで子供と呼ぼう。子供のうちは親が「こちらのほうがきっと幸せというゴールに早管鳥つけるだろう」と思い、本当は知らない行き先のバスに子供を乗せる。子供は行き先も良く分からないまま、親が乗せたそのバスがきっと正しいと盲目に信じて、周りの景色を見ながら揺られて乗っている。このバスからいつ降りるかが大人への第一歩といえる。

早い子供は周りの景色やバスの中で見たテレビ、友達と話した内容、親との会話から自分の乗っているバスが自分の行きたいところへ向かっていないことを気づいて途中下車してそれぞれの方向へ向かう。

十分大人になっているならば自分で車を運転して、自分のゴールだと信じる方向へ車を向かわせ、まだ子供ならばまた向かうと思われるバスに乗る。

重要なのはゴールが決まっていないということである。多くの人は有名大学へ行き一流企業に入るのが人生の成功への最速ルートだと考える。有名大学というバイパス道路へ乗り、大企業という高速道路へ目指す。行き先が自分の行きたい方向であるかは別として。立ち止まって考えてみてほしい。その高速道路の進行方向はあっているだろうか？行きたい場所の近くにインターチェンジがあるのか？おそらく何も考えないでみんなが乗っているから乗っている。そんな人が多いのではないか。

実は高速道路に乗るよりも、下の道のほうが早いのでは？高速道路は事故が起きてしまったらどうにもなくなるけど大丈夫か？実は反対向きの高速道路に乗らなくてはいけないのでは？？少し下の道を走った先のインターから乗ったら実は早いのでは？？一度立ち止まっていくべき方向を確かめて高速で行くか下の道で行くかを考えることが人生においては大事に思える。

車線の変更ひとつにしても人生を感じる。渋滞していることは良くある。人生でも何かしら行き詰ることは多々有る。そのとき右の車線が良いのか左が良いのか。ここで必要になるのは情報。右車線の先には右折車の列がつながっていると情報があれば迷わず左車線に行くでしょう。人生もそう。スムーズに行くためにもっとも必要なのは情報。常に情報を意識して行動していけば最小限の人生の渋滞で助かるはずだ。しかし注意も払わずただみんなと同じ方向へっただけ思っただけ行動していると無駄な渋滞にはまり込む。そして自分はついていないとただ嘆くことになる。自分のせいだとはさらさら考えない。

渋滞している場合でも視野を広くもてば意外にすんなり抜けられることもある。人生の目的地へのルートを他人任せに決めているとひとつの道しか浮かばないのでわき道にそれることを恐れる。中にはわき道にそれるひとをばか者呼ばわりするものもいるのではないか。目的地へ行くためのルートはひとつでは絶対でない。自分の実生活の移動を考えればすぐにわかる。自宅から街のデパートへ行くのだって数種類浮かぶはず。自動車に乗って高速道路で行かなくてはならないことはないはずだ。視点を変えて電車で行くのが一番早いはずだ。もしかしたら原付バイクでいくともっとも早いかもしれない。視野を広く道を選択していくこともとても重要だ。

自分が何に乗っているか十分認識する必要もある。自分がスポーツカーに乗っているのとクロカン4駆に乗っているのでは得意な道が違うはずだ。スポーツカーに乗っているのであればできるだけ高速で走れるほうが多少遠回りでも目的地に早く到着できる。クロカン4駆ならばでこぼこ道でも最短ルートが早いかもしれない。自分の乗っているものが分かっていないのに人と同じ高速道路へ行ってしまうほど愚かなことはない。あなたは原付バイクかもしれません。そうならば高速に乗るよりも街の裏道をすいすい走ったほうが速いのではないですか？あなたは400馬力のモンスタースポーツカーかもしれません。街でのんびり走っているのはもったいないのではないですか？自分の乗っているものをしっかり確認することはとっても重要なことです。まだ一人で乗り物に乗っていないのであれば早く自分自身の脚で歩き出しましょう。人と同じバスや電車に乗っていても人と同じところにしかつきません。そしてそこはあなたのゴールではないかもしれません。

多くの人が自分のゴールなど分からない。だから人と同じ電車やバスに乗ってとりあえず人と同じ方向へ向かう。それもしっかりとまわりを見ていつでも外へ出る意識を持ってのっているのであれば悪くない。ただすべてを人と同じようにやっている人生。振り返ったとき誰の人生だったのかと後悔するかもしれません。いくつになっても 外の景色を見て気づき自分の目的地へ目指して歩き出せるはずです。

事故は起こります。人生一度や二度は。一般道路を走っていて順調だったのに事故を起こしたりします。そこでまた人は判断しなくてはならない。事故を起こしてこのまますすぐ進むのか、右や左へ曲がって遠回りしたり目的地を変更したり。中には人生の目的地まで行くのを諦めてしまう人もいます。また、道に迷ったりもします。ナビゲーションのような有用な情報があれば問題はないですが、人生においてなかなか情報は転がってはいません。道に迷ったときの鉄則は、元の位置へ戻る。これに限ります。後退しますが人生のなかではちょっとしたことです。どこから自分が迷ったのかしっかりと把握してすぐに戻りましょう。具体的には大学卒業して就職。5年がたったが人生に迷った。そのときは大学卒業まで戻りましょう。就職を考えましょう。分かれ道に来たときに全く先のことを考えなかったのではないですか？今おかれている入社5年という立場から人生を考えるとしがらみがでて自分の行きたい方向がゆがめられてしまいます。卒業したてならまた道はまっすぐ続いているはず。戻ってみることは怖いことはありません。道を間違えてずいぶんたってから目的地を見つけて異動するのは大変です。また知らない道を走っていかなくてはならないから。それならいっそ戻ってやり直したほうが早かったりしますからね。